

款	4	衛生費	予 算 現 額	69,097,010 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	67,812,949 円
目	1	保健衛生総務費	前 年 度 決 算 額	62,584,402 円
			対 前 年 比	108.4 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	保健衛生一般管理事業	コード	01	04	01	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町職員
2 働きかける相手(対象)	町職員・関係機関
3 どのような状態にしたいのか(意図)	関係機関と連携を図り、健康増進法、母子保健法、予防接種法等に基づく各種事業を円滑に実施します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健衛生一般管理事業			
	<p>(1) いきいき東郷21推進協議会 町民の健康づくりと食育推進計画を定めた「いきいき東郷21（第2次）」の進捗状況の報告及び今後の方針について検討するため、会議を書面にて開催しました。（3月9日）</p> <p>(2) 献血活動 町献血推進協議会に補助金を交付しました。（献血回数5回、献血者数132人）</p> <p>(3) 骨髄ドナー助成事業 平成31年4月から骨髄ドナー及びびドナーが勤務する事業所に対し助成する事業を開始しました。 助成対象者 0人</p> <p>(4) 災害時に備えた保健活動 ア 1月27日に県と協働で保健師災害初動時体制構築訓練を実施しました。 イ 災害時の保健活動に必要な物品の使用期限の確認を行いました。 ウ 広域災害・救急医療情報システム（EMIS）の入力訓練を実施しました。 エ コロナ禍を想定した避難所開設訓練（いこまい館）に参加しました。</p> <p>(5) 会議の参加 ア 保健福祉課長会議等の課長会議 2人 イ 尾張東部医療圏域会議等の地域医療に関する会議 2人 ウ 尾張東部医療圏域災害医療部会等の災害に関する会議 2人 エ 健康増進事業担当者会議等の成人保健に関する会議 1人 オ 母子保健医療連絡会等の母子保健に関する会議 1人 カ 瀬戸保健所栄養士総会等栄養及び栄養士に関する会議 2人 キ 東名古屋保健連絡協議会等近隣市町との保健分野の連絡会 6人 ク いこまい会議 35人 (5)の合計51人</p> <p>(6) 研修 感染症、健康増進、母子保健、栄養、災害及び保健師のスキルアップ等の研修に参加しました。 17人 (5)+(6)=68人</p>			

5 活動指標	指標名	会議及び研修に参加した延べ人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
	指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	人 198.00	人
			平成 30 年度	人 195.00	人
			令和 元 年度	人 171.00	人
			令和 2 年度	人 68.00	人
6 直接事業費計	前年度決算額	1,460,588 円	決 算 額	2,868,772 円	個別計画による目標値はありません。

I. 事業の目的体系

1. 事業名	医師会・歯科医師会関係事業	コード	01	04	01	01	03	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：2 安心して医療を受けられる体制をつくる							
	施策の展開方向：(2) 地域医療の充実							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	医師会・歯科医師会
3 どのような状態に したいのか(意図)	町と医師会及び歯科医師会との連携を図り、保健事業を円滑に実施します。

4 評価対象年度に どのようなことを 実施したのか	<p>医師会・歯科医師会関係事業</p> <p>町民の健康保持と保健衛生業務を円滑に運営することを目的として、東名古屋東郷町医師会及び愛豊歯科医師会東郷支部に対し、助成金を交付しました。</p> <p>また、医師及び歯科医師との連絡調整のため、医師連絡会及び歯科医師連絡会（情報提供）を開催しました。</p> <p>(1) 医師会（医師26人） 助成額 400,000円</p> <p>ア 各医療機関にて健康相談や健康教育を安全に実施できるよう、環境整備用の消毒物品等を購入しました。 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため講演会を中止しました。</p> <p>イ 医師連絡会 1回開催（随時情報提供を行いました。）</p> <p>(2) 歯科医師会（歯科医師19人） 助成額 98,000円</p> <p>ア 8020・8820運動表彰 愛豊歯科医師会に加入するかかりつけ医にて表彰を行いました。 8020表彰 41人 8820表彰 11人</p> <p>イ 歯科医師連絡会 開催なし（随時情報提供を行いました。）</p> <p>(3) あいち医療通訳システム 愛知県で実施している外国人県民と医療機関の言葉の壁をなくすための通訳派遣及び電話通訳等のシステムに対し助成を行いました。 東郷町利用数 1人</p>			

5 活動指標	指標名	医師・歯科医師連絡会の開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	回 6.00
			平成 30 年度	回 6.00	回
			令和 元 年度	回 6.00	回
			令和 2 年度	回 1.00	回

6 直接事業費計	前年度決算額	950,743 円	決 算 額	838,357 円
----------	--------	-----------	-------	-----------

### I. 事業の目的体系

1. 事業名	東郷診療所特別会計繰出金事業	コード	01	04	01	01	04	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：2 安心して医療を受けられる体制をつくる							
	施策の展開方向：(2) 地域医療の充実							

### II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	東郷診療所受診者
2 働きかける相手(対象)	東郷診療所特別会計
3 どのような状態にしたいのか(意図)	東郷診療所特別会計の健全な運営を確保し、診療所事業を円滑に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	東郷診療所特別会計繰出金事業 東郷診療所特別会計のうち、訪問看護事業に対する財源として、一般会計から2,201,000円を繰り出しました。			

5 活動指標	指標名	一般会計繰出金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成 29 年度	円 2,316,000.00
			平成 30 年度	円 2,316,000.00	
	指標の説明 (指標式)		令和 元 年度	円 2,175,000.00	
			令和 2 年度	円 2,201,000.00	
6 直接事業費計	前年度決算額	2,175,000 円	決 算 額	2,201,000 円	

款	4	衛生費	予 算 現 額	436,495,082 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	180,832,449 円
目	2	予防費	前 年 度 決 算 額	175,594,595 円
			対 前 年 比	103 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	感染症まん延防止事業	コード	01	04	01	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(4) 感染症予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	予防接種法及び感染症法上の対象者
3 どのような状態に したいのか(意図)	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 感染症予防事業</p> <p>(1) 令和2年10月からロタウイルス感染症が定期接種に追加されることに伴い、町内実施医療機関を対象に説明会を実施しました。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、正しい手洗い方法や相談先を広報等で周知しました。</p> <p>(3) 11月15日に感染症対策を講じた避難所開設訓練の開催時に防護服着脱法の指導を実施しました。</p> <p>2 定期予防接種事業（法律に基づいたワクチン接種）</p> <p>(1) 乳幼児予防接種</p> <table border="0"> <tr><td>ア BCG</td><td>376人</td><td></td></tr> <tr><td>イ 四種混合</td><td>1,365人</td><td></td></tr> <tr><td>ウ 二種混合</td><td>413人</td><td></td></tr> <tr><td>エ 麻しん風しん</td><td>757人</td><td>(1期 346人 2期 411人)</td></tr> <tr><td>オ 日本脳炎</td><td>1,720人</td><td></td></tr> <tr><td>カ Hib感染症</td><td>1,338人</td><td></td></tr> <tr><td>キ 小児用肺炎球菌</td><td>1,318人</td><td></td></tr> <tr><td>ク 子宮頸がん</td><td>63人</td><td></td></tr> <tr><td>ケ 水痘(水ぼうそう)</td><td>732人</td><td></td></tr> <tr><td>コ B型肝炎</td><td>988人</td><td></td></tr> <tr><td>サ ロタウイルス感染症</td><td>264人</td><td>計 9,334人…① (内町外接種者 1,558人)</td></tr> </table> <p>(2) 成人を対象とした予防接種 昭和37年4月2日生から昭和54年4月1日生までの男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を開始しました。(平成31年4月1日から令和4年3月31日までの時限措置)</p> <table border="0"> <tr><td>ア インフルエンザ</td><td>6,976人</td><td></td></tr> <tr><td>イ 高齢者肺炎球菌</td><td>361人</td><td></td></tr> <tr><td>ウ 男性の風しん予防接種</td><td>80人</td><td>ア～ウ 計7,417人…② (内町外接種者1,392人)</td></tr> <tr><td>エ 男性の風しん抗体検査</td><td>394人</td><td></td></tr> </table> <p>3 任意予防接種事業 風しん対策事業として、妊娠を希望する女性(経産婦を含む)で風しんの抗体のない人に風しんワクチン接種費用の半額助成を実施しました。助成人数 6人…③ ①+②+③=16,757人</p>	ア BCG	376人		イ 四種混合	1,365人		ウ 二種混合	413人		エ 麻しん風しん	757人	(1期 346人 2期 411人)	オ 日本脳炎	1,720人		カ Hib感染症	1,338人		キ 小児用肺炎球菌	1,318人		ク 子宮頸がん	63人		ケ 水痘(水ぼうそう)	732人		コ B型肝炎	988人		サ ロタウイルス感染症	264人	計 9,334人…① (内町外接種者 1,558人)	ア インフルエンザ	6,976人		イ 高齢者肺炎球菌	361人		ウ 男性の風しん予防接種	80人	ア～ウ 計7,417人…② (内町外接種者1,392人)	エ 男性の風しん抗体検査	394人	
	ア BCG	376人																																												
イ 四種混合	1,365人																																													
ウ 二種混合	413人																																													
エ 麻しん風しん	757人	(1期 346人 2期 411人)																																												
オ 日本脳炎	1,720人																																													
カ Hib感染症	1,338人																																													
キ 小児用肺炎球菌	1,318人																																													
ク 子宮頸がん	63人																																													
ケ 水痘(水ぼうそう)	732人																																													
コ B型肝炎	988人																																													
サ ロタウイルス感染症	264人	計 9,334人…① (内町外接種者 1,558人)																																												
ア インフルエンザ	6,976人																																													
イ 高齢者肺炎球菌	361人																																													
ウ 男性の風しん予防接種	80人	ア～ウ 計7,417人…② (内町外接種者1,392人)																																												
エ 男性の風しん抗体検査	394人																																													

5 活動指標	指標名	予防接種延べ人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	予防接種、任意予防接種の延べ人数	平成29年度	人 15,363.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			平成30年度	人 16,137.00	人	
			令和元年度	人 15,464.00	人	
令和2年度			人 16,757.00	人		
6 成果指標	指標名	麻しん風しん1期接種率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	(麻しん風しん1期接種者) ÷ (対象者) × 100	平成29年度	% 94.10	% 100.00	接種率100%を目標とします。
			平成30年度	% 95.65	% 100.00	
			令和元年度	% 96.52	% 100.00	
令和2年度			% 91.05	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	123,093,941 円	決 算 額	130,035,002 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	成人保健健康診査事業	コード	01	04	01	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	健康診査等受診者
2 働きかける相手(対象)	健康診査等を職場などで受ける機会のない人、医療機関
3 どのような状態に したいのか(意図)	検診及び健康診査に対する受診意識の向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>成人保健健康診査事業</p> <p>各種がん検診、女性特有のがん検診推進事業、肝炎ウイルス検診、結核検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診及び20～39歳の方のための健診を行いました。</p> <p>また、保健事業年間スケジュールを作成し、保健事業の啓発を行うとともに、令和元年度の保健活動のまとめと評価を行い「東郷の保健活動」を作成しました。</p> <p>(1) 各種がん検診 合計 5,906人</p> <p>ア 胃がん 40歳以上 891人 (内胃内視鏡検査138人)</p> <p>イ 大腸がん 40歳以上 2,062人</p> <p>ウ 子宮頸がん 20歳以上 660人 (妊婦健診と同時に実施した分は母子健康診査事業に記載あり。)</p> <p>エ 乳がん 40歳以上 550人</p> <p>オ 肺がん 40歳以上 921人 (内喀痰検査を合わせて受診 52人)</p> <p>カ 前立腺がん 50歳以上 822人</p> <p>(2) 女性特有のがん検診推進事業</p> <p>※実績数値は(1)の各種がん検診の数字に含まれます。</p> <p>ア 子宮頸がん 20歳 15人 (対象者 263人)</p> <p>イ 乳がん 40歳 63人 (対象者 297人)</p> <p>(3) 肝炎ウイルス検診 222人</p> <p>(4) 歯周病検診 30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳 250人</p> <p>(5) 骨粗しょう症検診 136人</p> <p>(6) 20～39歳の方のための健診 146人</p> <p>(7) 結核検診 65歳以上 3,613人 (肺がん検診としての実施分は除く。)</p> <p>(8) 8020運動表彰 表彰者 41人</p> <p>(9) 8820運動表彰 表彰者 11人</p>
-------------------------	--

5 活動指標	指標名	がん検診受診者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	人 8,974.00	人 個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん受診者数	平成 30 年度	人 7,915.00	人	
			令和 元 年度	人 8,651.00	人	
令和 2 年度			人 5,906.00	人		
6 成果指標	指標名	胃がん検診受診率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度の愛知県内の平均値を目標値とします。
			平成 29 年度	% 14.70	% 16.00	
	指標の説明 (指標式)	40歳以上の胃がん検診受診率	平成 30 年度	% 13.70	% 16.00	
			令和 元 年度	% 13.11	% 9.50	
令和 2 年度			% 9.70	% 8.20		
7 直接事業費計	前年度決算額	47,595,949 円	決 算 額	39,088,066 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	成人保健健康教育事業	コード	01	04	01	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	健康講座等で健康教育を受ける人等、町民(40歳から64歳までの町民)
3 どのような状態に したいのか(意図)	健康的な生活を送ることができるよう健康に関する意識を高め、正しい知識を持って健康づくりに取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健健康教育事業 (1) 健康講演会(きらめきエクササイズ) 町民を対象に、健康づくりに取り組むきっかけの場として、ストレッチ体操を始めとする教室をオンラインにて実施しました。 開催回数12回(3クール) 参加者 25人 (2) とうごう体操普及推進事業 とうごう体操出前講座 地区等からの依頼により、とうごう体操の実演や講習会を開催しました。 開催回数1回 参加者18人 (3) あいち健康マイレージ 愛知県と東郷町の協働事業としてチャレンジシートを作成し、6月1日から開始しました。日々の健康づくりができる環境の整備や動機付けを行いました。 100ポイント達成者 134人 (内「まいか」取得者 92人) (1)~(3)の合計 13回 177人 (4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下の教室を中止しました。 ・男性のための料理・ウォーキング入門 ・文化産業まつり健康コーナー ・とうごう体操健康講座、とうごう体操普及ボランティア養成講座等				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	成人保健健康教育の実施回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回 81.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明(指標式)	地区の健康講座(健康づくり地区活動支援事業)を除く成人保健健康教育の実施回数		平成 30 年度	回 62.00	回	
			令和 元 年度	回 42.00	回	
			令和 2 年度	回 13.00	回	
6 成果指標	指標名	成人保健健康教育の参加者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	人 3,253.00	人 1,612.00	
指標の説明(指標式)	地区の健康講座(健康づくり地区活動支援事業)を除く成人保健健康教育の参加者数		平成 30 年度	人 3,044.00	人 3,253.00	
			令和 元 年度	人 2,647.00	人 3,044.00	
			令和 2 年度	人 177.00	人 2,647.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	934,785 円	決 算 額		616,951 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	成人保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	02	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	相談(訪問)が必要な人
3 どのような状態に したいのか(意図)	相談者が心身の健康に関する相談、指導及び助言を受けることができ、家庭における健康管理が促進されるようにします。また、心身機能の低下の防止と健康の保持増進が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健相談・訪問指導事業				
	(1) 健康相談 124人 ア みんなの栄養相談(毎週月～金曜日、ただし祝日は除く。) 9人 内容 栄養相談、食生活に関する相談、離乳食の相談など イ からだ・こころの健康相談(毎週月曜日、ただし祝日は除く。) 115人 内容 からだやこころに関する相談(発熱などの相談含む) ウ 20～39歳の方のための健診結果説明・相談会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止しました。(健診結果は、郵送にて報告しました。) エ 文化産業まつり健康コーナーは、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止しました。 (2) 成人訪問指導 訪問相談 2件 (3) 在宅ケアを考える会(多職種カンファレンス)への参加 5回 (4) 「こころの体温計」 内容 携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度が分かるメンタルチェックシステム アクセス数 町内 5,432件、町外 2,381件				

5 活動指標	指標名	20～39歳の方のための健診結果説明・相談を受けた人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)		平成 29 年度	人 304.00	人
			平成 30 年度	人 188.00	人	
			令和 元 年度	人 202.00	人	
			令和 2 年度	人 0.00	人	
6 成果指標	指標名	20～39歳の方のための健診後説明・相談にて、重点健康相談を受けた人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	人 192.00	人 148.00	前年度の実績値
			平成 30 年度	人 89.00	人 192.00	
			令和 元 年度	人 79.00	人 89.00	
			令和 2 年度	人 0.00	人 79.00	
	指標の説明(指標式)	重点とは、高血圧・高脂血症・糖尿病・歯周疾患・骨粗しょう症・肥満等についての相談・指導のことをいいます。				
7 直接事業費計	前年度決算額	468,546 円	決 算 額		181,355 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	健康づくり地区活動支援事業	コード	01	04	01	02	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	地区における健康づくり活動に関心がある人・関係機関
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生涯を通じた健康づくりを主体的に地域で取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	健康づくり地区活動支援事業 健康づくり地区活動支援（児童館、自治会、老人クラブ等からの依頼による健康に関する講座の実施や活動の支援）を実施しました。 (1) 健康づくり地区活動支援（地区の健康講座）は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、集会など開催されず、実施ができませんでした。 (2) 健康づくり活動支援 15回 205人 ア 健康づくりリーダー活動支援（健康体操教室） 6回 97人 イ 食生活改善推進員活動支援（定例会、研修会、勉強会） 9回 108人					

5 活動指標	指標名	健康づくり地区活動支援の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 29 年度	回 40.00	回	個別計画による目標値はありません。	
指標の説明 (指標式)			平成 30 年度	回 41.00	回		
			令和 元 年度	回 24.00	回		
			令和 2 年度	回 0.00	回		
6 成果指標	指標名	健康づくり地区活動支援の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			平成 29 年度	人 840.00	人 764.00		前年度実績
			平成 30 年度	人 1,176.00	人 840.00		
			令和 元 年度	人 594.00	人 1,176.00		
			令和 2 年度	人 205.00	人 594.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	274,128 円	決算額	40,000 円			

I. 事業の目的体系

1 事業名	救急医療対策事業	コード	01	04	01	02	06	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：2 安心して医療を受けられる体制をつくる							
	施策の展開方向：(1) 救急医療体制の充実							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	救急医療を必要とする人
2 働きかける相手(対象)	休日急病診療所、救急病院
3 どのような状態に したいのか(意図)	早急に医療行為が必要な人が、安心して治療ができるよう医療機関が確保され、その体制が維持できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>救急医療対策事業</p> <p>愛知県の救急医療体制が構築されているなか、尾張東部医療圏に属する本町は、第1次救急医療施設の休日急病診療所と第2次救急医療施設の尾張東部地域救急医療対策連絡協議会(5市1町)の救急病院に運営費を支出しました。</p> <p>(1) 第1次救急医療施設 日進市休日急病診療所(日進市) 令和2年度休日急病診療所利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 東郷町</td> <td>610人</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>イ 日進市</td> <td>2,212人</td> <td>55.1%</td> </tr> <tr> <td>ウ 長久手市</td> <td>886人</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>エ その他</td> <td>309人</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,017人</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 第2次救急医療施設 日進おりど病院(日進市)、旭労災病院(尾張旭市) 日進おりど病院と旭労災病院が指定病院です。また、陶生病院が、第3次救急医療施設(第2次救急医療機関の後方病院として脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門(熱傷、小児、中毒等)における重篤救急患者の救命医療を担当する。)に指定されています。</p> <p>※第1次救急医療施設とは、救急医療体制下において、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第2次救急医療施設への選別機能を持つ医療機関をいう。 ※第2次救急医療施設とは、第1次救急医療施設の後方病院として、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当する医療機関をいう。</p>					ア 東郷町	610人	15.2%	イ 日進市	2,212人	55.1%	ウ 長久手市	886人	22.0%	エ その他	309人	7.7%	計	4,017人	
	ア 東郷町	610人	15.2%																	
イ 日進市	2,212人	55.1%																		
ウ 長久手市	886人	22.0%																		
エ その他	309人	7.7%																		
計	4,017人																			

5 活動指標	指標名	日進市休日急病診療所(東名古屋医師会運営)受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	人 3,883.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			平成30年度	人 4,017.00	人	
			令和元年度	人 3,598.00	人	
令和2年度			人 4,017.00	人		
6 成果指標	指標名	日進市休日急病診療所(東名古屋医師会運営)を受診した東郷町民の数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	人 650.00	人 585.00	過去3年間の実績値の平均
			平成30年度	人 610.00	人 608.00	
			令和元年度	人 557.00	人 614.00	
令和2年度			人 610.00	人 605.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	3,227,246 円	決算額	3,115,206 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	04	01	02	07	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民及び町内医療機関
2 働きかける相手(対象)	町民及び町内医療機関
3 どのような状態に したいのか(意図)	感染症の発生及びまん延の予防が図られるようにします。感染者にとって自宅療養期間に必要な療養品が整う支援します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 感染予防対策</p> <p>(1) 妊婦及び産後8週までの産婦を対象に、不織布マスクの配付を実施しました。配付延べ人数644人</p> <p>(2) 町内の医療機関へ、N95マスクや防護服の配付を実施しました。配付医療機関39件</p> <p>(3) ホームページにて、感染症予防に関する情報を掲載しました。</p> <p>(4) 町新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、いこまい館内の感染予防対策を施設サービス(株)と協議しました。</p> <p>2 感染者や感染症疑いの方への支援</p> <p>(1) 感染症に関する相談 発熱等に関することや受診方法についての電話相談を実施しました。121件</p> <p>(2) 生活支援事業 陽性患者のうち、保健所から自宅療養を指示された者に対し、自宅療養支援品の支給、買い物支援、薬の受け取りを実施しました。</p> <p>自宅療養支援品支給 3世帯(療養物品3セット 支援品20セット)</p> <p>買い物支援 実2回 延2回</p> <p>薬の受け取り 実2回 延2回</p>				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	感染症に関する電話相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
			平成30年度	件	件	
			令和元年度	30.00	件	
令和2年度	121.00		件			
6 成果指標	指標名	生活支援事業の実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	回	回	前年度実績
			平成30年度	回	回	
			令和元年度	回	回	
令和2年度	7.00		回	0.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額		34,281 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業	コード	01	04	01	02	08	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(4) 感染症予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	16歳以上の町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	令和3年4月から開始予定の医療従事者を除く16歳以上の町民に対する新型コロナウイルスワクチン接種について、接種希望者が早期に接種できるよう接種体制の整備を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業                  新型コロナウイルスワクチン接種が、予防接種法第6条第1項に規定する臨時の予防接種とされたことに伴い、接種希望者が早期に接種できるよう体制整備を行いました。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種実施計画の策定                  接種期間、接種対象者、接種スケジュール、接種体制、相談体制等を定めた接種計画を策定しました。</p> <p>(2) 東名古屋東郷町医師会との協議                  国から示される情報の共有を行い、本町で実施可能な方法について、東名古屋東郷町医師会と調整を行いました。</p> <p>(3) クーポン券（接種券）等の印刷及び発送準備                  クーポン券（接種券）の発送時に必要な印刷物の準備の他、65歳以上の高齢者については、国の指定時期に送付できるよう発送準備を行いました。</p> <p>(4) コールセンターの設置                  新型コロナウイルスワクチン接種に関する一般的な相談及び接種予約の受付を行うコールセンターを3月25日に開設しました。</p> <p>(5) システム改修                  新型コロナウイルスワクチン接種のクーポン券（接種券）の発行及び接種歴の管理に必要なシステム改修を行いました。</p> <p>(6) 集団接種実施に向けた準備                  イーストプラザいこまい館2階健康づくりセンターを集団接種会場とし、接種の流れ、会場レイアウト、必要人員等について検討した他、接種に必要な医薬品、消耗品、備品等の準備を行いました。</p> <p>(7) 個別接種実施に向けた準備                  町内医療機関と調整し、各医療機関で実施する個別接種の体制整備を行った他、ワクチンの配送方法についての検討、必要物品等の準備を行いました。</p> <p>(8) 周知啓発                  ワクチン接種に関する情報提供をホームページで行いました。また、広報や町公式LINEでの情報提供ができるよう準備を行いました。</p>			
-------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	町コールセンターへの問い合わせ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
			平成30年度	件	件	
			令和元年度	件	件	
令和2年度			件 67.00	件		
6 成果指標	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	%	%	国の新型コロナウイルスワクチン接種率
			平成30年度	%	%	
			令和元年度	%	%	
令和2年度			% 0.00	% 0.04		
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額		7,721,588 円	

款	4	衛生費	予 算 現 額	67,831,234 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	58,251,574 円
目	3	母子保健費	前 年 度 決 算 額	61,646,544 円
			対 前 年 比	94.5 %

### I. 事業の目的体系

1 事業名	母子保健健康診査事業	コード	01	04	01	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

### II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2 働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	妊婦・乳幼児が健康診査並びに保健指導を受けることができ、健康保持、育児上の不安解消及び母子の疾病予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健健康診査事業	
	<p>(1) 健康診査の状況 (1)ア～キ 合計6,288人 妊産婦及び乳幼児を対象とした健診(妊婦健診(14回)、産婦健診、乳児健診(2回)、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診)を実施しました。なお、2歳児歯科健診については中止しました。</p> <p>ア 妊婦健診・子宮頸がん健診 一般 3,868人 子宮頸がん 275人(内県外・助産所受診 延べ139人)</p> <p>イ 産婦健診 305人(内県外受診 延べ14人)</p> <p>ウ 乳児健診(県外受診含む) 553人(内県外受診 延べ14人)</p> <p>エ 妊産婦歯科健診 95人</p> <p>オ 4か月児健診 363人(対象者366人、受診率99.2%、要精密検査1人)</p> <p>カ 1歳6か月児健診 413人(対象者437人、受診率94.5%、要精密検査6人)</p> <p>キ 3歳児健診 416人(対象者420人、受診率99.0%、要精密検査36人)</p> <p>(2) むし歯予防の取り組み 1歳6か月児健診で個別指導を行いました。</p> <p>(3) 健診未受診者対策 受診のない児には、電話で受診勧奨し、受診できない児へは家庭訪問や面接、入園状況の確認等で児の所在及び発達確認を行いました。所在が未確認の児については、子育て応援課に所在不明児童調査の依頼をしました。所在不明児童調査依頼 1件、調査結果 海外への出国を確認 1件</p> <p>(4) 健診での他機関との協働 3歳児健診において町保育士が同席し、就園に向けた支援のため児の発達等の情報共有を行いました。</p> <p>(5) 妊産婦タクシー助成 妊娠中から安全安心に移動できる手段として、妊婦1人当たり10,000円分のタクシー助成券を配付しました。 ア タクシー券申請者数 353人 イ 利用者人数及び利用率 延べ260人(実人数152人) 43.1%</p>	

5 活動指標	指標名	健診受診者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	妊婦健診、子宮頸がん健診、産婦健診、乳児健診、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診の合計受診者数	平成29年度	人 7,320.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			平成30年度	人 7,970.00	人	
			令和元年度	人 7,521.00	人	
令和2年度			人 6,288.00	人		
6 成果指標	指標名	1歳6か月児健診受診率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	健診受診者÷健診対象者×100	平成29年度	% 99.00	% 100.00	いきいき東郷21計画の目標値100%を目標とした。
			平成30年度	% 96.33	% 100.00	
			令和元年度	% 97.90	% 100.00	
令和2年度			% 94.50	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	48,232,343 円	決 算 額	43,343,400 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	母子保健教育事業	コード	01	04	01	03	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2 働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	離乳食教室、パパママ教室等の保健教育について、乳幼児及び保護者の健康が保持され、子育てに関する正しい知識の習得や仲間づくりの機会を設けます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健教育事業 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、対面での教室開催を一部中止しました。				
	<p>(1) 離乳食教室の動画配信 離乳食の基本の習得を目的に離乳食教室の内容の動画を2種類作成し、配信しました。</p> <p>(2) パパママ教室 パパママ教室の動画配信 パパママ教室の内容の動画を9種類作成し、配信しました。</p> <p>(3) なかよし教室(相談) ア 内容 臨床心理士による相談を実施し、遊びを通した子どもとの関わり方等についての助言を行いました。 イ 講師 臨床心理士 ウ 実施回数 12回 エ 実績 実人数(児)30人、延べ人数(児)31人</p> <p>(4) 双子交流会 ア 多胎児を育児している保護者の交流のため、実施しました。多胎児を妊娠した妊婦にも教室の案内をし、妊娠期からの参加を促しました。 イ 実施回数 1回 ウ 実績 参加3組</p>				

5 活動指標	指標名	なかよし教室参加人数(実人数)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明(指標式)		平成29年度	人 87.00	人	
			平成30年度	人 64.00	人	
			令和元年度	人 46.00	人	
令和2年度			人 30.00	人		
6 成果指標	指標名	1歳6か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人の割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明(指標式)	1歳6か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人÷1歳6か月児健診受診者×100	平成29年度	% 94.60	% 100.00	1歳6か月児健診において「親・家庭の要因で継続支援等が必要」と判断された人がいないことを目標とします。
			平成30年度	% 94.59	% 100.00	
			令和元年度	% 93.20	% 100.00	
			令和2年度	% 89.58	% 100.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	981,787 円	決算額	169,952 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	母子保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	03	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2 働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3 どのような状態に したいのか(意図)	適切な保健指導・育児相談が受けられるようにし、妊産婦・乳幼児の健康が保持され、育児上の不安が解消されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 母子健康包括支援センター</p> <p>(1) 母子健康手帳交付時の面接 317人</p> <p>(2) 要支援妊婦の把握及び支援カンファレンス 9回</p> <p>(3) 支援プラン作成数 8件</p> <p>2 母子保健相談</p> <p>健康づくりセンターにおいて下記の相談を実施しました。</p> <p>(1) 育児相談(就学前児童対象)</p> <p>ア 内容 保健師・管理栄養士による育児相談を実施しました。</p> <p>イ 実施回数 育児相談・栄養相談 16回</p> <p>ウ 実績 乳児(実人数 98人、延べ人数 156人) 幼児(実人数 77人、延べ人数 154人)</p> <p>(2) 離乳食相談・栄養相談</p> <p>ア 内容 赤ちゃん相談及び育児相談時に管理栄養士による栄養相談を実施しました。</p> <p>イ 実績 延べ41人</p> <p>(3) オンライン育児相談・栄養相談</p> <p>ア 内容 外出を控える保護者向けに、オンラインによる保健指導・相談(予約制)を年8回計画しました。</p> <p>イ 開催回数及び実績 1回 1人(実人数) (1)及び(3)合計 311人</p> <p>(4) ことばの相談</p> <p>ア 内容 臨床心理士によることばの発達相談を実施し、保健指導を実施しました。</p> <p>イ 実施回数及び実績 12回 35人(実人数)</p> <p>3 訪問指導事業</p> <p>赤ちゃん訪問(未熟児を含む)を始めとする訪問指導を実施しました。</p> <p>(1) 妊婦訪問 実人数 0人 訪問回数 0回</p> <p>(2) 赤ちゃん訪問 実人数 313人(内他市町村に依頼 4人)</p> <p>(3) 産婦訪問 実人数 313人(内他市町村に依頼 4人) 対象産婦数 318人</p> <p>(4) 乳児・幼児訪問 実件数 18人 訪問回数 22回</p> <p>(5) 歯科衛生士訪問 実人数 0人 訪問回数 0回</p> <p>(6) 産後ケア訪問 実人数 1人 訪問回数 2回</p> <p>4 多胎児サポーター等派遣事業</p> <p>多胎児のいる家庭に対して育児支援、家事支援に従事するサポーターへのスキルアップを目的に講座を開催しました。全3回、参加延べ人数31人。多胎児家庭へのサポーター派遣はありませんでした。</p>			
-------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	育児相談(オンライン含む)件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明(指標式)		平成29年度	人 708.00	人	
			平成30年度	人 549.00	人	
			令和元年度	人 615.00	人	
令和2年度			人 311.00	人		
6 成果指標	指標名	新生児家庭訪問実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明(指標式)	委託助産師・町保健師・保健所保健師による訪問者率	平成29年度	% 98.90	% 100.00	前年度実績の10%増ただし、平成25年度からは100%
			平成30年度	% 99.20	% 100.00	
			令和元年度	% 99.20	% 100.00	
令和2年度			% 98.42	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	3,706,593 円	決算額	6,694,072 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	発達障がい早期総合支援事業	コード	01	04	01	03	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
2 働きかける相手(対象)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
3 どのような状態に したいのか(意図)	発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する正しい支援方法を、保護者や支援者が理解し、発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童が生活しやすい環境を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 発達検査、発達相談</p> <p>(1) 4歳5歳児発達相談 ア 内容 臨床心理士による発達検査を実施し、保健指導を実施しました。 イ 実施状況 実施回数9回、実人数17人…①</p> <p>2 早期総合支援体制</p> <p>(1) すくすく発達相談(5歳児スクリーニング)事業 発達障がいの早期発見と、保護者及び保育士に対し支援方法の指導を実施するため、町内保育園・幼稚園のうち5園を対象に巡回し、保護者アンケート等を参考に、発達障がいの特徴のある児童への園での対応について助言等を行いました。また、必要な園児には後日発達検査、発達相談を実施しました。 アンケート：町内保育園・幼稚園で実施 308人 発達検査、発達相談の実施 8人</p> <p>(2) 小学校等巡回相談 発達障がい傾向にある児童の支援方法を現場支援者(教員等)と検討しました。 実施状況 町内小学校 5回(相談児童7人)、町内中学校 1回(相談生徒1人) 合計6回</p> <p>(3) 発達障がい早期総合支援連絡協議会 発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する支援体制の充実を図るための協議会です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために書面会議としました。</p> <p>(4) 発達障がい早期総合支援研修会 発達障がい傾向のある児童や生徒にかかわる職員(保育士、小中学校の介助員、放課後子ども教室担当者、相談員、保健師等)に対し研修を実施しました。参加者48人 講演会 「自閉症など人とのやりとりが気になる子どもさんの理解とユニバーサルデザインによる療育 発達支援」 講師 療育フリーメンター 森長研治氏 (1)~(2)合計 324人…② ①+②=合計341人</p>				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	発達検査、発達相談、すくすく発達相談、小学校等巡回相談における相談児童・生徒数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明(指標式)		平成29年度	人 386.00	人	
			平成30年度	人 356.00	人	
			令和元年度	人 365.00	人	
令和2年度			人 341.00	人		
6 成果指標	指標名	小学校等巡回相談実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 小学校等巡回相談を全小中学校にて実施します。
	指標の説明(指標式)	小学校等巡回相談の実施回数	平成29年度	回 9.00	回 9.00	
			平成30年度	回 13.00	回 9.00	
			令和元年度	回 11.00	回 9.00	
			令和2年度	回 6.00	回 9.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	1,489,905 円	決算額	428,584 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	不妊治療費事業	コード	01	04	01	03	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：4 社会保障制度を適切に運用する							
	施策の展開方向：(4) 福祉医療制度の適正な運用							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	不妊症や不育症に悩む夫婦
2 働きかける相手(対象)	不妊症や不育症に悩む夫婦
3 どのような状態に したいのか(意図)	不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に係る経済的な負担の軽減が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	不妊治療費事業 (1) 不妊治療 (不妊治療に要する費用の一部を助成しました。) 合計109件 ア 一般不妊治療 50件 イ 特定不妊治療 59件 (2) 不育症治療 (不育症治療に要する費用の一部を助成しました。) 不育症治療 2件			
-------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	不妊治療・不育症治療費申請延べ件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)		平成 29 年度	件 89.00	件
			平成 30 年度	件 82.00	件	
			令和 元 年度	件 103.00	件	
			令和 2 年度	件 111.00	件	
6 成果指標	指標名	不妊治療費助成金支給額	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	円 5,955,233.00	円 7,290,541.00	前年度実績
			平成 30 年度	円 5,965,100.00	円 5,955,233.00	
			令和 元 年度	円 7,235,916.00	円 5,965,100.00	
			令和 2 年度	円 7,615,566.00	円 7,235,916.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	7,235,916 円	決 算 額		7,615,566 円	

款	4	衛生費	予 算 現 額	193,417,000 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	190,661,063 円
目	4	いこまい館費	前 年 度 決 算 額	150,473,003 円
			対 前 年 比	126.7 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	いこまい館管理事業	コード	01	04	01	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：(1) 一次予防の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	施設利用者
2 働きかける相手(対象)	指定管理者、施設、施設利用者
3 どのような状態に したいのか(意図)	いこまい館を利用する人が安心して快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	いこまい館管理事業 (1) いこまい館施設維持管理業務 指定管理者により施設の管理運営を実施しました。指定管理期間は平成30年度から令和4年度までの5年間です。 年間施設利用者数は、有料施設36,889人、無料施設3,882人、合計40,771人でした。 ア 有料施設 (36,889人) (ア) トレーニングジム 13,045人 (イ) 水中トレーニング室 10,378人 (ウ) 介助浴室 41人 (エ) 自主活動スペース (13,425人) a 多目的室A 4,330人 b 多目的室B 3,574人 c 調理室・ラウンジ 276人 d 会議室A 736人 e 会議室B 1,820人 f 和室(3室) 1,843人 g 音楽練習室 317人 h 指導会議室(2室) 529人 イ 無料施設 (3,882人) (ア) 町民活動センター 2,216人 (イ) おもちゃルーム 1,606人 (ウ) 無料町民ギャラリー 30日間(2団体) ※利用日数のみ (エ) シニアハウス 60人 (2) いこまい館駐車場一体整備事業 ア いこまい館連絡橋整備工事(線越明許費)ボックスカルバート工 L=11m イ いこまい館連絡橋整備工事 駐車台数70台 表層工2,440㎡ ウ いこまい館連絡橋整備工事(その2)張芝工 743㎡	
-------------------------	--	--

5 活動指標	指標名	管理運営会議の開催数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	施設設置者である町と指定管理者との管理運営会議	平成29年度	回 12.00	回	
			平成30年度	回 12.00	回	
			令和元年度	回 12.00	回	
令和2年度			回 12.00	回		
6 成果指標	指標名	有料施設の利用人数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	トレーニングルーム、水中トレーニング室等有料施設の利用人数	平成29年度	人 183,791.00	人 185,101.00	前年度実績
			平成30年度	人 188,702.00	人 183,791.00	
			令和元年度	人 165,882.00	人 188,702.00	
令和2年度			人 36,889.00	人 165,882.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	150,473,003 円	決 算 額	190,661,063 円		

款	4	衛生費	予 算 現 額	51,864,000 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	50,020,568 円
目	5	環境衛生費	前 年 度 決 算 額	52,008,922 円
			対 前 年 比	96.2 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	環境衛生一般管理事業	コード	01	04	01	05	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：5人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民、職員
2 働きかける相手(対象)	職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	環境行政全般を円滑に推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	環境衛生一般事務事業 (1) 愛知県主催の環境基礎研修、災害廃棄物処理計画研修、東部丘陵生態系ネットワーク協議会等の研修会や関係機関の会議に参加しました。 (2) 作業服、ハチやクモの駆除剤、書籍等を購入しました。			

5	指標名	研修会、協議会等への参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成 29 年度	回 44.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	平成 30 年度	回 31.00	回	
		令和 元 年度	回 37.00	回	
		令和 2 年度	回 23.00	回	
6 直接事業費計	前年度決算額	91,650 円	決 算 額	95,181 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	狂犬病対策事業	コード	01	04	01	05	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：5人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(4) 環境衛生対策の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民					
2 働きかける相手(対象)	犬の所有者、獣医					
3 どのような状態にしたいのか(意図)	狂犬病の発生の予防・撲滅及びそのまん延を防止し、公衆衛生の向上を図るとともに、無登録犬の減少と飼い主のマナーの向上を図られるようにします。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	狂犬病対策事業 飼い主へのはがきによる予防注射案内を送付し、預託による予防注射を24病院で実施しました。 例年、接種率向上のため各地区に接種会場を設けて集合予防注射を実施していましたが、当該年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。 (1) 犬登録頭数 3,142頭 (2) 注射頭数 2,340頭					
	5 活動指標	指標名	狂犬病予防注射接種頭数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			平成29年度	2,353.00 頭	頭	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明(指標式)		平成30年度	2,370.00 頭	頭	
			令和元年度	2,274.00 頭	頭	
			令和2年度	2,340.00 頭	頭	
6 成果指標	指標名	狂犬病予防注射接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。
			平成29年度	76.90 %	79.24 %	
	指標の説明(指標式)	狂犬病予防注射接種頭数÷登録犬数×100	平成30年度	79.11 %	76.90 %	
			令和元年度	74.93 %	79.11 %	
			令和2年度	74.47 %	74.93 %	
7 直接事業費計	前年度決算額	774,906 円	決算額		811,808 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	環境保全事業	コード	01	04	01	05	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：5人と自然が共生し、おいしいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) 環境学習の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、自然
3 どのような状態にしたいのか(意図)	緑豊かな東郷町を守り、自然の大切さを感じることができるよう、幼少期から環境に対する学習の機会を提供することで、町民自らが地域に愛着を持ち緑豊かな自然環境が保たれるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 環境保全事業 ホタル生息地の調査及びホームページでの公表 (1) 調査回数 2回 (2) 調査場所 町内19か所  2 環境学習推進事業 例年、環境美化と保全、ごみの減量、リサイクル等を通して、子どもたちが環境や自然について楽しみながら学習できるイベントとして「こどもエコぱんぱく in 東郷」を実施していましたが、当該年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。				

5 活動指標	指標名	事業開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回 2.00	回	
	指標の説明 (指標式)	ホタル生息地調査及びこどもエコぱんぱくの開催回数	平成 30 年度	回 1.00	回	
			令和 元 年度	回 3.00	回	
令和 2 年度			回 2.00	回		
6 成果指標	指標名	環境保全関連事業参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。
			平成 29 年度	人 2,200.00	人 2,100.00	
	指標の説明 (指標式)	こどもエコぱんぱくの参加者数	平成 30 年度	人 0.00	人 2,200.00	
			令和 元 年度	人 2,100.00	人 0.00	
令和 2 年度			人 0.00	人 2,100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	1,129,280 円	決算額		0 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	地球温暖化防止活動推進事業	コード	01	04	01	05	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいいうのちのあるまち							
	基本施策：6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める							
	施策の展開方向：(1) 地球温暖化対策の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	一般家庭、事業者、町職員
3 どのような状態に したいのか(意図)	地球温暖化の防止、低炭素社会への転換、資源の有効利用、環境負荷の低減、環境保全等について、町民、事業者、職員が自ら率先して行動できるようにするとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 東郷版ISO推進事業 東郷版ISOの普及 「東郷版ISOエコチャレンジ10」については、例年、文化産業まつりにおいてPR活動を実施していましたが、当該イベントが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になったことに伴い、庁舎正面玄関ロビーで実施しました。</p> <p>2 東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業 地球温暖化対策設備の設置者に対して、設置及び購入に要する費用の一部を補助することにより、エネルギーの地産地消に対する意識の高揚を図るとともに、温室効果ガスの排出を抑制することで地球温暖化防止を促進することを目的として補助金を交付しました。</p> <p>(1) 家庭用燃料電池システム 補助件数 5件 補助金額 250,000円</p> <p>(2) 定置用リチウムイオン蓄電システム 補助件数 15件 補助金額 750,000円</p> <p>(3) 家庭用エネルギー管理システム 補助件数 6件 補助金額 60,000円</p> <p>(4) 電気自動車等充電設備 補助件数 1件 補助金額 50,000円</p> <p>(5) 一体的導入① (住宅用太陽光発電施設+定置用リチウムイオン蓄電システム+家庭用エネルギー管理システム) 補助件数 20件 補助金額 4,000,000円</p> <p>(6) 一体的導入② (一体的導入①+電気自動車等充電設備) 補助件数 0件 補助金額 0円</p>	
-------------------------	---	--

5 活動指標	指標名	東郷版ISO参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	件	件	
			平成30年度	61.00	件	
			令和元年度	80.00	件	
令和2年度			90.00	件		
個別計画による目標値はありません。						
6 成果指標	指標名	東郷版ISO認定者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	東郷版ISOエコチャレンジ10において認定された人数	平成29年度	件	件	前年度実績値を目標値とします。
			平成30年度	61.00	件	
			令和元年度	80.00	61.00	
令和2年度			90.00	80.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	6,833,550 円	決算額	5,140,500 円		

款	4	衛生費	予 算 現 額	4,476,000 円
項	1	保健衛生費	決 算 額	2,994,504 円
目	6	公害対策費	前 年 度 決 算 額	1,503,556 円
			対 前 年 比	199.2 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	水質浄化事業	コード	01	04	01	06	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうおいのあるまち							
	基本施策：5人と自然が共生し、うおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(3)環境保全対策の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	市街化調整区域の町民、子ども、町民、水質
3 どのような状態に したいのか(意図)	河川等の水質を浄化することによって、水環境への負荷の軽減を図ります。

4 評価対象年度に どのようなこと を実施したのか	<p>1 合併処理浄化槽推進事業 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、市街化調整区域で単独浄化槽から合併処理浄化槽に付替えた者に対して補助金を交付しました。(実績4件、1,864,000円)</p> <p>2 水質浄化啓発事業 (1) 水質検査 ア 河川の水質汚濁状況を定期的に把握するため、11河川等12か所の水質検査を3回行いました。 イ 水環境の保全に努めるため、生活排水路4か所の水質検査を2回行いました。 (2) 水生生物調査(境川生きものウォッチング) 例年、境川河川敷(交通児童遊園前)において町内の小学生3～6年生を対象に境川に生息する生物を採取し、その生物指標により水質階級を判定する生活排水の啓発イベントを実施していましたが、当該年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。</p>	
---------------------------------	--	--

5 活動指標	指標名	合併処理浄化槽付替件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付替件数	平成 29 年度	基 3.00	基 個別計画による目標値はありません。	
			平成 30 年度	基 6.00	基	
			令和 元 年度	基 1.00	基	
令和 2 年度			基 4.00	基		
6 成果指標	指標名	境川下流(四ツ塚)の水質(BOD)測定値	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	水質の汚濁状況を表すBOD(生物学的酸素要求量)の測定値の平均(年3回測定)	平成 29 年度	mg/l 4.26	mg/l 3.00	生活排水対策推進計画に定める目標値(生活環境の保全に関する環境基準に定める河川類型BのBOD基準値(3.0mg/l以下))
			平成 30 年度	mg/l 8.53	mg/l 3.00	
			令和 元 年度	mg/l 2.73	mg/l 3.00	
令和 2 年度			mg/l 2.03	mg/l 3.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	979,896 円	決 算 額	2,400,118 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	公害対策事業	コード	01	04	01	06	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：5人と自然が共生し、おいしいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(3) 環境保全対策の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	事業者、町民、土壌・騒音・振動・悪臭などの原因
3 どのような状態に したいのか(意図)	発生した公害が早期に解決され、良好な生活環境が保全されるようにします。また、有害物質による土壌汚染や土砂の流出等による災害の発生が未然に防止されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 公害等対策事業 生活環境に悪影響を及ぼす公害を監視し、町民の生活環境を良好に保つとともに、通報に対して直ちに調査し対処しました。 また、町民に対し環境保全に関する啓発を実施するとともに、近隣市と積極的に情報交換をしました。</p> <p>(1) 公害苦情件数 8件(典型7公害等に関するもの) (2) 東郷町土質等規制条例許可申請件数 0件</p> <p>2 騒音対策事業 (1) 届出の受付 騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例(以下「愛知県条例」。)に基づく騒音・振動などの届出を受け、監視するとともに、苦情処理を行い快適な生活環境を守りました。 ア 特定施設の設置届出件数 0件 イ 愛知県条例に基づく悪臭関係工場等の届出件数 3件 ウ 特定建設作業実施届出件数 (7) 騒音規制法に基づく届出 206件 (イ) 振動規制法に基づく届出 68件 (ウ) 愛知県条例に基づく届出 525件 (2) 騒音測定等 町内の幹線道路の騒音状況を把握するため、町内6路線8地点の騒音測定を実施し、町民の健康及び生活環境の保全を図りました。</p> <p>3 環境放射線対策事業 平成23年の福島第1原子力発電所の事故以降、町内の空間放射線量を監視するため測定し、公表しました。 6施設で空間放射線量を測定しました。 測定日：令和2年7月28日</p> <p>4 自動車排出ガス濃度調査事業 愛知県の調査制度を利用し、大気環境測定車による調査を実施し、公表しました。 (1) 調査地点：東郷町大字春木字猫池13番地 (2) 調査期間：令和2年10月6日(火)から10月28日(水)まで</p>			
-------------------------	---	--	--	--

5 活動指標	指標名	公害苦情処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成29年度	件 9.00	件	個別計画による目標値はありません。
			平成30年度	件 9.00	件	
			令和元年度	件 3.00	件	
令和2年度			件 8.00	件		
6 成果指標	指標名	苦情解決率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 発生した苦情は100%解決を目指します。
	指標の説明 (指標式)	$(\text{苦情件数} - \text{未解決件数}) \div \text{苦情件数} \times 100$	平成29年度	% 100.00	% 100.00	
			平成30年度	% 100.00	% 100.00	
			令和元年度	% 100.00	% 100.00	
令和2年度			% 100.00	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	523,660 円	決算額	594,386 円		

款	4	衛生費	予 算 現 額	37,712,872 円
項	2	清掃費	決 算 額	34,880,271 円
目	1	清掃総務費	前 年 度 決 算 額	32,871,805 円
			対 前 年 比	106.1 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	地域環境対策事業	コード	01	04	02	01	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(3) まちの環境美化と不法投棄対策の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、町内通行者
3 どのような状態に したいのか(意図)	ポイ捨てや不法投棄のない清潔な生活環境を保持します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 地域環境美化事業	
	(1) 犬猫等動物死骸処理 公道等において、交通事故等で死亡した犬猫等の死骸処理を行いました。 処理件数 147件 (2) 地域清掃活動用ごみ袋の配布 地域清掃や公共の場をボランティアで清掃される方に、専用のごみ袋を配布しました。 申請件数 94件	
	2 不法投棄監視等事業	
	不法投棄が多い不法投棄重点監視区域を中心に、町内を監視パトロールしたほか、不法投棄物や散乱ごみの回収・運搬等を行いました。 (1) パトロール日数 145日 (2) 不法投棄確認件数 193件 (3) 回収した不法投棄物の重量 9,740kg	

5 活動指標	指標名	不法投棄物確認件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	件 224.00	件 個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	不法投棄監視で確認した不法投棄物の件数	平成 30 年度	件 194.00	件	
			令和 元 年度	件 135.00	件	
令和 2 年度			件 193.00	件		
6 成果指標	指標名	不法投棄物の年間処理量	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	kg 9,950.00	kg	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	不法投棄監視で回収した不法投棄物の年間処理量	平成 30 年度	kg 9,440.00	kg	
			令和 元 年度	kg 8,780.00	kg	
			令和 2 年度	kg 9,740.00	kg	
7 直接事業費計	前年度決算額	4,401,646 円	決 算 額	4,716,866 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	廃棄物減量推進事業	コード	01	04	02	01	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいというおいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 3Rの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、廃棄物減量等推進員
3 どのような状態に したいのか(意図)	ごみの減量化を推進し、限りある資源を将来にわたって有効に活用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	廃棄物減量推進事業 (1) 廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員事業 町内17地区に各2名(合計34名)の推進員を配置し、ごみの減量の啓発、廃棄物の適正処理の推進等を行いました。推進員の主な職務は、「廃棄物の減量に関する啓発」、「資源回収の推進」、「ごみの分別及び適正排出の推進」、「不法投棄等の監視に係る活動」、「ごみ集積場所の設置等に関する連絡調整」等があります。 (2) クリーンアップキャンペーンの実施 幹線道路沿いのポイ捨てごみを拾うクリーンアップキャンペーンを年2回実施しました。 令和2年6月17日 諸輪、傍示本地区 令和2年10月28日 諸輪、和合、祐福寺地区 (3) 生ごみの減量化 生ごみの減量対策として、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入者に補助金を交付しました。 補助実績 電動生ごみ処理機9基、生ごみ処理容器4基				

5 活動指標	指標名	環境美化活動等の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	クリーンアップキャンペーン等 啓発イベント等の実施回数	平成29年度	回 2.00	回 2.00	
			平成30年度	回 2.00	回 2.00	
			令和元年度	回 2.00	回 2.00	
令和2年度			回 2.00	回 2.00		
6 成果指標	指標名	生ごみ処理機の補助実績	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	生ごみ処理機・生ごみ処理容器 の購入者に対する補助実績	平成29年度	基 15.00	基	
			平成30年度	基 8.00	基	
			令和元年度	基 13.00	基	
令和2年度			基 13.00	基		
7 直接事業費計	前年度決算額	1,099,234 円	決算額	1,172,500 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	資源回収事業	コード	01	04	02	01	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 3Rの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、区・自治会、集団資源回収団体
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民一人ひとりがりサイクルへの意識を持ち、ごみ減量を地域で主体的に取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	資源回収事業 (1) 資源回収ステーションでの資源回収の推進 常設の資源回収ステーション2か所(北部・中部)で資源の回収に努めました。 ア 回収品目 26品目 (新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、紙製容器包装、雑がみ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、白色トレイ、蛍光管、びん、缶、廃食用油、乾電池、スプレー缶、使い捨てライター、その他の紙製容器包装、割りばし、ペットボトルのキャップ、インクカートリッジ、水銀入り体温計、小型家電、充電式電池、ボタン電池、バッテリー) イ 回収量 663t (2) 地区における資源回収の促進 資源の分別収集を実施した区・自治会に対し、月額9,000円の奨励金を交付しました。 ア 対象品目 2品目(ペットボトル、びん) イ 回収量 48t (3) 集団資源回収の促進 集団資源回収実施団体に対し、資源回収量に応じ、奨励金を交付しました。 ア 団体数 40団体 イ 対象品目 7品目(新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、スチール缶) ウ 回収量 808t			
-------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	資源回収量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	資源回収ステーション、地区資源回収、集団資源回収で回収した資源の量	平成29年度	t 1,846.00	t 個別計画による目標値はありません。	
			平成30年度	t 1,759.00	t	
			令和元年度	t 1,721.00	t	
令和2年度			t 1,519.00	t		
6 成果指標	指標名	資源回収率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	資源回収量 ÷ (資源回収量 + 処理しなければならないごみ量) × 100	平成29年度	% 15.91	% 22.00	第5次総合計画目標 平成32年 22.0%
			平成30年度	% 15.35	% 22.00	
			令和元年度	% 14.86	% 22.00	
令和2年度			% 13.75	% 22.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	27,370,925 円	決算額	28,046,033 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	04	02	01	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうおいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 3Rの推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民を新型コロナウイルス感染症から守り、安全安心にリサイクルに取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として資源回収ステーションを閉鎖したことにより、プラスチック製容器包装の拠点回収ができなくなったため、町内全域で臨時計画収集を実施し、接触感染のリスクがない安全なりサイクル活動を推進しました。 (1) 実施回数 各地区2回(春木川を境に町内を2地区に分割) (2) 収集量 2,100kg				

5 活動指標	指標名	実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			平成29年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明 (指標式)	臨時収集の回数		平成30年度	回	回	
			令和元年度	回	回	
			令和2年度	回	回	
				4.00		
6 成果指標	指標名	資源回収量	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			平成29年度	kg	kg	
	指標の説明 (指標式)	臨時収集で回収したプラスチック製容器包装の量	平成30年度	kg	kg	
			令和元年度	kg	kg	
			令和2年度	kg	kg	
		2,100.00				
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	944,872 円		

款	4	衛生費	予 算 現 額	365,260,000 円
項	2	清掃費	決 算 額	355,883,947 円
目	2	塵芥処理費	前 年 度 決 算 額	338,124,434 円
			対 前 年 比	105.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	一般廃棄物処理事業	コード	01	04	02	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) ごみ・し尿の適正処理							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、事業者、一般廃棄物
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町内から発生する一般廃棄物を、計画的、衛生的かつ効率的に収集・運搬し、適正に処理できるようにします。また、焼却施設などで処理しなければならないごみの量を抑制するようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>一般廃棄物処理事業</p> <p>(1) 計画収集等 町内全域で、家庭系ごみは町指定袋により衛生的な収集(可燃ごみは週2回、資源ごみ金属類は月2回、資源ごみ陶磁器・ガラスは月1回)を行い、事業系ごみは許可者による収集を行い、尾三衛生組合等に搬入し、処分しました。粗大ごみは、電話予約により受付後、毎週1回戸別有料方式で収集を行い、尾三衛生組合に搬入し、処分しました。</p> <p>[年間排出量(家庭系及び事業系の合計。尾三衛生組合への直接搬入を含む。)]</p> <p>ア 可燃ごみ 11,021t (うち計画収集 7,791t)</p> <p>イ 資源ごみ金属類 319t (うち計画収集 319t)</p> <p>ウ 資源ごみ陶磁器・ガラス 135t (うち計画収集 135t)</p> <p>エ 粗大ごみ 689t (うち計画収集 82t)</p> <p>(2) 指定ごみ袋 ごみ収集のための指定ごみ袋を印刷し指定ごみ袋の販売(ごみ処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。委託店舗数 70店舗</p> <p>(3) 尾三衛生組合負担金 ア 尾三衛生組合(本町、日進市及びみよし市で構成する一部事務組合)の運営に必要な負担金を支出しました。 イ 組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、管内担当者会議等での会議に出席しました。</p> <p>(4) 尾張東部・尾三地域広域化ブロックごみ処理における広域化計画策定業務の策定 尾張東部衛生組合の構成3市・尾三衛生組合の構成3市町と合同で、広域化計画を策定しました。</p>
-------------------------	---

5 活動指標	指標名	処理しなければならないごみの量	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明(指標式)	可燃・資源・粗大ごみの年間排出量(直接搬入を含む。)	平成 29 年度	11,779.00 t	t	
			平成 30 年度	11,881.00 t	t	
			令和 元 年度	11,965.00 t	t	
令和 2 年度			12,164.00 t	t		
個別計画による目標値はありません。						
6 成果指標	指標名	処理しなければならないごみの町民1人1日当たりの量	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明(指標式)	可燃・資源・粗大ごみの年間排出量(直接搬入を含む。)/年度末人口/年間日数	平成 29 年度	741.00 g	720.00 g	第5次総合計画目標値 令和2年 720g/日
			平成 30 年度	743.00 g	720.00 g	
			令和 元 年度	742.00 g	720.00 g	
令和 2 年度			757.00 g	720.00 g		
7 直接事業費計	前年度決算額	338,124,434 円	決 算 額	355,883,947 円		

款	4	衛生費	予 算 現 額	46,980,000 円
項	2	清掃費	決 算 額	38,999,556 円
目	3	し尿処理事業	前 年 度 決 算 額	45,115,174 円
			対 前 年 比	86.4 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	し尿処理事業	コード	01	04	02	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) ごみ・し尿の適正処理							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、日進美化センター
3 どのような状態に したいのか(意図)	生し尿を適正に収集処理することにより、清潔な生活環境を保持するようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	し尿処理事業	
	(1) し尿処理 し尿汲取券で従量制により収集し、処理施設である日進美化センターに搬入し、処理しました。 年間収集量 生し尿収集量 223,540kg (参考 浄化槽汚泥収集量 7,101,850kg) (2) し尿汲取券 し尿汲取券の販売(し尿処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。 (3) 日進美化センター運營業務委託事業 し尿処理業務について、日進美化センターへ運営を委託しました。	

5 活動指標	指標名	生し尿収集量	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	kg 344,230.00	kg	個別計画による目標値 はありません。
			平成 30 年度	kg 346,830.00	kg	
			令和 元 年度	kg 297,230.00	kg	
令和 2 年度			kg 223,540.00	kg		
6 成果指標	指標名	し尿収集量の処理施設搬入割合	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	し尿搬入量÷し尿収集量×100	平成 29 年度	% 100.00	% 100.00	収集したし尿の全てを 処理施設へ搬入するこ とを目標とします。
			平成 30 年度	% 100.00	% 100.00	
			令和 元 年度	% 100.00	% 100.00	
令和 2 年度			% 100.00	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	45,115,174 円	決 算 額	38,999,556 円		

款	5	労働費	予 算 現 額	20,628,000 円
項	1	労働諸費	決 算 額	20,241,000 円
目	1	労働諸費	前 年 度 決 算 額	19,467,000 円
			対 前 年 比	104 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	シルバー人材センター運営事業	コード	01	05	01	01	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向：(2) 地域で活躍できる環境づくり							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	高齢者
2 働きかける相手(対象)	公益社団法人東郷町シルバー人材センター
3 どのような状態に したいのか(意図)	長年の職業経験や技能を活かしたいと望む高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や生活の安定、地域社会の維持・発展を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	シルバー人材センター運営事業 (1) 公益社団法人東郷町シルバー人材センターの令和2年度事業報告 ア 会員数 257人 イ 事務局職員数 4名 ウ 就業率 69.6% エ 受託事業収入 87,321,676円 オ 派遣事業支出 10,546,441円 カ シルバー生活応援隊事業実績 30件 (2) シルバー人材センターに対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 給料手当 21,758,426円 法定福利費 3,543,423円 イ 補助金額 20,241,000円	
-------------------------	--	--

5 活動指標	指標名	受託事業収入	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	就業機会の確保及び提供による収入	平成 29 年度	千円 98,099.00	千円 107,500.00	
			平成 30 年度	千円 96,863.00	千円 109,000.00	
			令和 元 年度	千円 100,099.00	千円 110,500.00	
令和 2 年度			千円 87,322.00	千円 112,000.00		
6 成果指標	指標名	会員就業率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	就業実人数÷会員数×100 (毎月の平均値)	平成 29 年度	% 71.80	% 80.00	公益社団法人東郷町シルバー人材センター第3次中期計画
			平成 30 年度	% 72.90	% 82.50	
			令和 元 年度	% 73.30	% 84.70	
令和 2 年度			% 69.60	% 86.90		
7 直接事業費計	前年度決算額	19,467,000 円	決 算 額	20,241,000 円		

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	12,130,487 円
項	1	農業費	決 算 額	10,531,174 円
目	1	農業委員会費	前 年 度 決 算 額	12,500,573 円
			対 前 年 比	84.2 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	農業委員会運営事業	コード	01	06	01	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農地所有者、農業委員、農地利用最適化推進委員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農地を効率的に利用する耕作者の権利取得等を促進するなど農地の利用関係を調整するとともに、貴重な資源である農地の転用を適切に規制し、町内で良好な農業経営が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>農業委員会運営事業</p> <p>農地の効率的な利用を図るため、農業的土地利用の観点からの確な農業委員会活動を行いました。</p> <p>(1) 農業委員会総会開催回数 12回(毎月1回)</p> <p>(2) 農地法関係の届出及び許可の取扱件数</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>3条許可</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>4条許可</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>4条1項8号届出</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>5条許可</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>5条1項7号届出</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>102件</td> </tr> </table> <p>(3) 先進地視察研修 新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。</p>				ア	3条許可	5件	イ	4条許可	3件	ウ	4条1項8号届出	10件	エ	5条許可	30件	オ	5条1項7号届出	54件		合計	102件
	ア	3条許可	5件																			
イ	4条許可	3件																				
ウ	4条1項8号届出	10件																				
エ	5条許可	30件																				
オ	5条1項7号届出	54件																				
	合計	102件																				

5 活動指標	指標名	農業委員会の開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成 29 年度	回 12.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 30 年度	回 12.00	回
			令和 元 年度	回 12.00	回
			令和 2 年度	回 12.00	回
6 直接事業費計	前年度決算額	4,384,919 円	決 算 額	3,739,403 円	

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	24,230,513 円
項	1	農業費	決 算 額	24,210,700 円
目	2	農業総務費	前 年 度 決 算 額	21,139,027 円
			対 前 年 比	114.5 %

### I. 事業の目的体系

1. 事業名	農業総務一般管理事業	コード	01	06	01	02	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

### II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者、職員
2 働きかける相手(対象)	職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農業行政全般を円滑に推進できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業総務一般事務事業 職員の知識向上を図るため、下記の研修会に参加しました。 (1) 管内農地転用・農振制度実務者研修 (2) 特定家畜伝染病県域防疫研修会 (3) 農地事務担当者研修会 (4) 農業理解研修 (5) 農地中間管理事業の推進に向けた研修会 (6) 森林環境譲与税活用事業研修			

5 活動指標	指標名	会議、研修会等への参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	回 19.00	回	個別計画による目標値はありません。
			平成 30 年度	回 10.00	回	
			令和 元 年度	回 3.00	回	
			令和 2 年度	回 6.00	回	
6 直接事業費計	前年度決算額	1,660 円	決 算 額	52,990 円		

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	2,709,000 円
項	1	農業費	決 算 額	1,123,998 円
目	3	農業振興費	前 年 度 決 算 額	7,363,852 円
			対 前 年 比	15.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	農業振興一般事業	コード	01	06	01	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：(1) 担い手及び新規就農者の育成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農業者、農業関係団体
3 どのような状態にしたいのか(意図)	各種の農業施策事業を展開し、担い手農家の育成や特産品の開発・普及を進め、農業の活性化が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>農業振興一般事業 令和2年度から新たに有機JAS認証取得推進事業補助を実施し、本町の有機農業の推進を図りました。 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、軽トラ市を年度途中から再開し、町内農家の支援、地産地消の推進を図りました。</p> <p>(1) 有機農業農家へ有機JAS認証取得推進事業補助金58,620円を交付しました。 (2) 農業経営リーダーズ協議会へ補助金10,000円を交付しました。 (3) 軽トラ市について、コロナ禍の中、感染症対策を講じ、諸輪住宅集会所で14回、西白土ふれあいセンターで1回実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、いこまい館での開催は中止しました。</p>			

5 活動指標	指標名	東郷軽トラ市開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	1年間の東郷軽トラ市開催回数	平成29年度	件 71.00	件 48.00	前年度実績
			平成30年度	件 75.00	件 71.00	
			令和元年度	件 71.00	件 75.00	
令和2年度			件 15.00	件 71.00		
6 成果指標	指標名	有機JAS認証取得農家数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	有機JAS認証取得農家数	平成29年度	件	件	予算措置上の件数
			平成30年度	件	件	
			令和元年度	件	件	
令和2年度			件 1.00	件 3.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	5,546,122 円	決 算 額	140,121 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	ふるさと農園管理事業	コード	01	06	01	03	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：5 美しい街並み景観のあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) 農地の景観保全							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	ふるさと農園利用者
2 働きかける相手(対象)	ふるさと農園利用者、町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民が健康的でゆとりのある日常生活の増進と農業に対する理解を深める足掛かりとして、ふるさと農園について知ってもらい、新たな利用者を増やすとともに、農園がより使いやすく親しみやすい場所として利用されるようにします。

4 評価対象年度に どのようなことを 実施したのか	ふるさと農園管理事業 農園の貸出し及び農園の維持管理を実施しました。 (1) 区画 かがやの里 52区画 (20㎡/1区画) 利用者46人 (利用率88.5%) かがみだの里 64区画 (20㎡/1区画) 利用者61人 (利用率95.3%) (2) 利用料(1区画当たり) 4,000円(新規・継続) ※継続の利用料を令和元年度に3,000円から4,000円に変更しています。 経過措置により、平成30年度からの新規利用者が継続利用する場合、令和2年度の利用料は3,000円です。 (3) 維持管理事業 ア 利用者による草刈り(令和2年11月) ※令和2年5月予定のものは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 イ 事業者委託によるゴミ集積場所ゴミ運搬処分(令和2年9月、12月)				

5 活動指標	指標名	ふるさと農園維持管理事業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
				平成 29 年度	回数 2.00	回数	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指標式)	農園利用者による草刈り	平成 30 年度	回数 2.00	回数		
			令和 元 年度	回数 2.00	回数		
			令和 2 年度	回数 1.00	回数		
6 成果指標	指標名	ふるさと農園利用率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法	
			平成 29 年度	% 88.79	% 100.00		全区画の利用
			平成 30 年度	% 90.26	% 100.00		
		指標の説明 (指標式)	令和 元 年度	% 89.66	% 100.00		
			令和 2 年度	% 92.24	% 100.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	627,144 円	決 算 額		337,154 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	農学校運営事業	コード	01	06	01	03	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：(1) 担い手及び新規就農者の育成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農学校生徒
2 働きかける相手(対象)	農学校生徒、講師
3 どのような状態に したいのか(意図)	とうとう農学校を設置し農業の学習、体験の機会を提供して多様な農業者の育成を進め、自立して農業ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>農学校運営事業          農業の実践及び農業を体験することにより、農業の重要性を各自が認識することができました。</p> <p>(1) 受講者数 16名          (2) 期間          ア 春夏露地野菜コース 4月から7月まで          ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。          イ 秋冬露地野菜コース 8月から11月まで          (3) 実習及び講座回数          実習年 14回          講座年 5回          研修年 4回          (4) 栽培作物          ア 春夏 スイカ、カボチャ、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等 ※通常開催時          イ 秋冬 白菜、大根、キャベツ、小松菜、ブロッコリー、カブ等</p>				

5 活動指標	指標名	実習、講座回数、研修等	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			平成29年度	回 44.00	回	
	指標の説明 (指標式)		平成30年度	回 45.00	回	
			令和元年度	回 42.00	回	
		令和2年度	回 23.00	回		
6 成果指標	指標名	農学校受講者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			平成29年度	人 22.00	人 25.00	第5次総合計画による 目標値
	指標の説明 (指標式)		平成30年度	人 22.00	人 25.00	
			令和元年度	人 17.00	人 25.00	
		令和2年度	人 16.00	人 25.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	1,190,586 円	決算額	646,723 円		

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	7,346,000 円
項	1	農業費	決 算 額	6,674,032 円
目	4	地域農政推進費	前 年 度 決 算 額	5,962,179 円
			対 前 年 比	111.9 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	水田農業構造改革対策事業	コード	01	06	01	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：(1) 担い手及び新規就農者の育成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農業者
3 どのような状態に したいのか(意図)	米の需要均衡の回復と価格安定のため、需要に応じた米の計画的生産の徹底を図るとともに、担い手への支援及び育成を行い、遊休農地対策を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	水田農業構造改革対策事業 需要に応じた作物生産と良好な水田環境の保全を図りながら生産数量目標の目安の達成、水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える取組を支援しました。	
	<p>(1) 担い手育成事業（土地利用集積助成金） 農業の担い手が行う農地の利用集積に対し、その面積に応じて助成しました。 7,622.44a×150円/a=1,143,366円</p> <p>(2) 担い手育成事業（農作業委託費助成金） 担い手に農作業の委託をした農業者に、委託料金の一部を助成しました。 助成額 1,039,091円 《実績》 耕起 99,358㎡（助成単価1.0円/㎡） 代掻き 63,972㎡（助成単価1.2円/㎡） 田植え 105,099㎡（助成単価1.1円/㎡） 刈取り 226,525㎡（助成単価3.3円/㎡）</p> <p>(3) 環境保全型農業直接支払交付金 農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全活動に対して助成しました。 助成額 249,200円（2団体）</p> <p>(4) 農業次世代人材投資資金（経営開始型） 認定新規就農者に補助金を交付しました。 補助金額 3,711,375円（2経営体）</p>	

5 活動指標	指標名	利用権設定面積	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	東郷町地域水田農業ビジョンにおける担い手への利用権設定目標面積（使用貸借を含む。）	平成 29 年度	ha 77.86	ha 60.00	東郷町地域水田農業ビジョンにおける担い手への利用権設定目標面積
			平成 30 年度	ha 77.13	ha 60.00	
			令和 元 年度	ha 79.35	ha 60.00	
令和 2 年度	ha 76.22	ha 60.00				
6 成果指標	指標名	担い手への農地の集積率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	管内農地のうち、担い手に集積された農地の割合	平成 29 年度	% 23.64	% 23.39	前年実績値
			平成 30 年度	% 24.10	% 23.64	
			令和 元 年度	% 25.07	% 24.10	
令和 2 年度	% 26.49	% 25.07				
7 直接事業費計	前年度決算額		5,962,179 円	決 算 額		6,674,032 円

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	12,460,632 円
項	1	農業費	決 算 額	12,460,632 円
目	5	農地費	前 年 度 決 算 額	14,102,428 円
			対 前 年 比	88.4 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	農業用施設維持管理事業	コード	01	06	01	05	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者、町民
2 働きかける相手(対象)	農業用ため池の所有者又は管理者、農業用施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農業用ため池の管理者等と協力して維持管理を行い、農業用水の安定的な供給に資するとともに自然災害等を未然に防止できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業用施設維持管理事業																								
	<p>(1) 町内にある農業用ため池を維持管理するため、5つの地区が実施した農業用ため池の管理事業（堤体の草刈り及び除去）に対し補助しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 諸輪地区</td> <td>8か所</td> <td>7,650㎡</td> <td>153,000円</td> </tr> <tr> <td>イ 和合地区</td> <td>2か所</td> <td>2,238㎡</td> <td>44,000円</td> </tr> <tr> <td>ウ 傍示本地区</td> <td>4か所</td> <td>6,831㎡</td> <td>136,000円</td> </tr> <tr> <td>エ 祐福寺地区</td> <td>2か所</td> <td>3,456㎡</td> <td>69,000円</td> </tr> <tr> <td>オ 部田地区</td> <td>2か所</td> <td>1,425㎡</td> <td>28,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18か所</td> <td>21,600㎡</td> <td>430,000円</td> </tr> </table> <p>(2) 県営土地改良事業東郷長池地区防災ダム事業負担金 愛知県が実施する、農業用ため池（長池）の耐震工事に伴う負担金を支払いました。 負担金額 394,304円</p> <p>(3) 愛知用水三好支線水路緊急対策事業負担金 （独）水資源機構が実施する、農業用の水路改修及び三好池の耐震対策工事に伴う負担金を支払いました。 負担金額 5,662,000円</p> <p>(4) 豊明北部地区水質障害対策事業維持管理費負担金 豊明市と締結している維持管理協定に基づき、維持管理費に係る負担金を支払いました。</p>		ア 諸輪地区	8か所	7,650㎡	153,000円	イ 和合地区	2か所	2,238㎡	44,000円	ウ 傍示本地区	4か所	6,831㎡	136,000円	エ 祐福寺地区	2か所	3,456㎡	69,000円	オ 部田地区	2か所	1,425㎡	28,000円	合計	18か所	21,600㎡
ア 諸輪地区	8か所	7,650㎡	153,000円																						
イ 和合地区	2か所	2,238㎡	44,000円																						
ウ 傍示本地区	4か所	6,831㎡	136,000円																						
エ 祐福寺地区	2か所	3,456㎡	69,000円																						
オ 部田地区	2か所	1,425㎡	28,000円																						
合計	18か所	21,600㎡	430,000円																						

5 活動指標	指標名	農業用ため池の管理事業を実施したため池の数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	事業の対象となるため池の数	平成 29 年度	箇所 18.00	箇所 個別計画による目標値はありません。	
			平成 30 年度	箇所 18.00		
			令和 元 年度	箇所 18.00		
令和 2 年度			箇所 18.00			
6 成果指標	指標名	農業用ため池管理事業実施面積	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	草刈り及び除去の面積	平成 29 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	前年度実績
			平成 30 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
			令和 元 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
令和 2 年度			㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	12,013,180 円	決 算 額	6,896,004 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	農業土木事業	コード	01	06	01	05	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農家及び地域住民
2 働きかける相手(対象)	土地改良区域内にある道路、排水路、農水管
3 どのような状態に したいのか(意図)	農地の保全及びその利用の高度化のため、農業基盤を整備することにより生産性の高い農業の育成並びに農業経営の合理化及び効率化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業土木事業 農業用水管老朽化に伴い、農水管の布設替、空気弁の取り替えを実施しました。 管路工事 14m 空気弁 1基	

5 活動指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち整備した箇所数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	箇所 0.00	箇所
			平成 30 年度	箇所 0.00	箇所	
			令和 元 年度	箇所 0.00	箇所	
			令和 2 年度	箇所 0.00	箇所	
6 成果指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち修繕した箇所数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	箇所 0.00	箇所 1.00	過去3年間の平均値
		平成 30 年度	箇所 1.00	箇所 1.00		
		令和 元 年度	箇所 0.00	箇所 1.00		
		令和 2 年度	箇所 1.00	箇所 1.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額		3,677,300 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	土地改良一般管理事業	コード	01	06	01	05	03	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	愛知用水東郷利水組合組合員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	愛知用水を利用する農業団体及び農業者と密接な連携を保ち、地区間相互の均衡を図ることで、農業用施設の維持管理や農業経営の円滑化、合理化及び効率化が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地改良事業一般事務事業 愛知県土地改良事業団体連合会に賦課金を支払いました。 次のとおり会議等に参加しました。 (1) 管内土地改良事業担当者会議 (2) ブロック別懇談会			
	(この欄は、評価対象年度にどのようなことを実施したのかを記載する。上記の通り実施した場合は、この欄は空欄とする。)			

5 活動指標	指標名	会議、研修会の参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
	指標の説明 (指標式)		平成 29 年度	回 5.00	回 個別計画による目標値はありません。
			平成 30 年度	回 4.00	回
			令和 元 年度	回 5.00	回
			令和 2 年度	回 2.00	回
6 直接事業費計	前年度決算額	280,920 円	決 算 額	79,000 円	

I. 事業の目的体系

1. 事業名	愛知用水二期事業建設負担金償還事業	コード	01	06	01	05	04	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	水資源機構、愛知用水土地改良区
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農業用水を安定的に供給できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知用水二期事業建設負担金償還金事業（償還期間平成17年度から令和3年度まで） 令和2年度の建設事業負担金償還金として1,808,328円支払いました。			
	(1) 元金分	1,887,316円		
	(2) 利息分	65,012円		
	(3) 事務費軽減額	144,000円		
	(4) 精算支払額	1,808,328円		
	(5) 令和2年度末残高	1,919,537円		

5 活動指標	指標名	償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成 29 年度	円 1,793,837.00
	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した建設負担金元金の額	平成 30 年度	円 1,824,470.00	
			令和 元 年度	円 1,855,627.00	
			令和 2 年度	円 1,887,316.00	
6 直接事業費計			前年度決算額	1,808,328 円	決 算 額

款	6	農林水産業費	予 算 現 額	4,532,000 円
項	2	林業費	決 算 額	4,521,500 円
目	1	林業振興費	前 年 度 決 算 額	2,330,800 円
			対 前 年 比	194 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	林業一般管理事業	コード	01	06	02	01	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める							
	施策の展開方向：-							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、木曾川流域の住民
2 働きかける相手(対象)	町民、銀河の森 (2.94ha)、伐採届届出者、森林の土地の所有者届届出者
3 どのような状態に したいのか(意図)	林業が担い手不足や高齢化等の状況にある中、人工林を育てることで林業経営の安定化、森林の公益的機能(おいしい水や空気を供給する機能)の促進を図るとともに、町民の森林・林業に対する理解と協力が促進されるようにします。また、森林の適正な管理状態を維持し、水源の育成に努めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>林業振興一般事業</p> <p>(1) 森林法による届出の受付  ア 森林法による伐採届の受付件数 4件  イ 森林法による森林の土地の所有者届の受付件数 8件</p> <p>(2) 王滝村分収造林事業  令和2年度の実施分はありません。次の事業実施予定年度は令和3年度です。</p> <p>(3) 森林環境譲与税基金積立金事業  森林環境譲与税全額の3,516,000円を森林環境譲与税基金に積み立てました。</p> <p>(4) 里山林整備事業  令和3年度に実施する諸輪御嶽の里整備事業に向けた計画を策定しました。</p>				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指標名	森林伐採届及び森林の土地の所有者届の受付件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	伐採届の受付件数+森林の土地の所有者届の受付件数	平成 29 年度	件 10.00	件 個別計画による目標値はありません。	
			平成 30 年度	件 3.00	件	
			令和 元 年度	件 4.00	件	
令和 2 年度			件 12.00	件		
6 成果指標	指標名	銀河の森植栽面積	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	銀河の森植栽延べ面積	平成 29 年度	ha 2.94	ha 2.94	銀河の森植栽延べ面積
			平成 30 年度	ha 2.94	ha 2.94	
			令和 元 年度	ha 2.94	ha 2.94	
令和 2 年度			ha 2.94	ha 2.94		
7 直接事業費計	前年度決算額	1,698,700 円	決 算 額	4,521,500 円		